

4月13日(日)

西田鮮魚店 × 道の駅たかの 「カフェレストランそらら」 鮮度溢れる3日間

おなじみのサラダバイキングに... **握り寿司も 食べ放題!**

4/15(火)16(水)17(木) 限定

大人(中学生以上)	¥2,980	制限時間 60分
小学生	¥2,100	
未就学児 3歳以下	¥1,600	
	無料	

※すべて税込価格です

Salad and Side dish viking

道の駅たかの sorara

ランチ 11:00 ~ 15:00 (L014:00)
カフェ 14:30 ~ 17:00 (L016:30)

お問い合わせ先
TEL 0824-86-3131
〒727-0423 広島県庄原市高野町下門田49
尾道和江通「高野」降りてすぐ

【道の駅たかの】HP

**4月15日・16日・17日
道の駅たかのさんとコラボします!
こちらにも是非お越しください!**



1パック(4切入)

1,000円

(税込)



西田鮮魚店

72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

西田鮮魚店 副店長 越道 裕子

この度入学、進学された皆様おめでとうございます。ランドセルを背負って歩く新一年を見て、ほっこりしてます。桜も満開。今年は天気が続き、桜も長く見られるような気がします。

先日、娘に会いに米子に行った際、夜桜を見に行きました。ライトアップされた桜は屋とは全然違い、綺麗と感じる年頃になりました(笑)。娘らは、桜より屋台目当て?!と思う頃でした(笑)。

皆さんお待ちせしました!!今回の広告は、明太銀鮭!!この鮭のコメントは、いつも私です(笑)。必ず美味しさ伝えます!!

食べた人が思わず、「もうない?」と言うてくるこの鮭!!明太銀鮭。明太子の漬け汁に漬けてある鮭。鮭の味もしつかりし、明太子のピリツとした風味、ご飯が進みます。この短文のみです。この美味しさ、一度食べたらかります。この機会に、是非一度食べてみて下さい。

明太銀鮭

明太子の出汁が効いてピリツと感が美味しい

『庄原に墓を掘るといふこと』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 『道の駅たかの』バイキングに握り寿司が…

『道の駅たかの』に握り寿司がやってくる！第2弾』ということで、4月15日（火）に、西田鮮魚店プロデュースの寿司の盛り合わせを販売させていただきます。

『贅沢盛り 2500円 11貫』限定20食
『特盛り 3000円 20貫』限定50食

ただし、すべて4月11日（金）までの注文販売ですから、このチラシを見られた時点では、遅かったということになってしまいます。申し訳ありません。

その代わりと言ってはなんですが『カフェレストランそれから』でおなじみの『サラダバイキング』に15・16・17日の3日間限定で握り寿司が加わります。60分食べ放題です。

II 若者で沸く市議会選挙

3月17日に『若者ばかり者よそ者』という題で書きました。数日して、お手紙をいただきました。私より8才年上の女性ということでした。2年ほど前から楽しみに読んでいただいているとのことでした。最初にそう書かれたあと、こう続きます。



さて今日のタイトルは『若者ばかり者よそ者』。
我が町は今年、若者で沸いている。紛れもない市議会選挙！
「あの人はどなたの子供さん？」という会話が飛び交っている。
今年の我が町は四月の桜とともに、咲く者、散る者、悲喜交々、賑わうことになる。
それはさておき、ばか者とはどんな者達を指すのか。あなたの見解は如何に。

III うらしま太郎になったあなたを知る人は少ない ここからが本題です。三つ目の『よそ者』が。



次の、よそ者について私が筆を執った理由をお聞かせしたい。
この町に、さして関りもなく住まってる人のことを言うのだろうか。又、当町に戸籍を持ちながら、心が我が町に根付いていない人のことを云うのであろうか。
今日はあえて、このタイトルに無茶ぶりしてみたいと思う。
と云うのは、あなた自身がよそ者ではないかと最近思うようになりまして。あなたが、きびすを返すかどうかはさて置き、時は30年前にさかのぼりましょう。
『よいとこ』をあなた達が立ち上げた時、まさに、今の大谷君の活躍の様に、ヒットに次ぐヒットで町は賑わい、現在に到っているし、商売に置いても、次々活躍されたと認識している。しかし、ふと気づくと、今、すっかり『うらしま太郎』になったあなたを知る人は少ない。
当町は、その間に『夕張り化』寸前の町になってしまった現在、どこを取り繕う事が出来るでしょう。

「そうかあ、うらしま太郎か。そうかもしれないな。」
女性が書かれているように、今年43回を数える『よいとこ祭』の前身の『ふるさと祭』を立ち上げたのはわたしの仲間たちでした。

企画したのは、今はシンセイアートの会長の塩本の誠ちゃん。中心にいてみんなを引っ張ったのは、一才年上で北備建設の社長だった今は亡き松森の良ちゃん。私は広場でヤドカリを売っていただけ。30才になるかならぬかの竜宮城で遊ぶ前の若くて活きのいいうらしま太郎たちでした。

あの頃は、中国道が全通、ジョイフルができ、グラントホテルができ、県大ができ、丘陵公園ができ、そして巷でも、いろんな店が次から次とオープンしました。

私も『太郎と花子の花車』という居酒屋を作ったし、近所におしゃれな『OZ』が建ち、『千里十里』に人があふれ、『轍』が夜の社交場と化し、0時をすぎると、酔客が『ひさご』に流れてきました。私も庄原も元気でした。

それから『すし家族』『すし辰』と回転寿司に進出し、広島を中心に店を広げるにつれ私の中から庄原の存在が急速に薄れていきました。住まいはずっと庄原でしたが、心は離れていたかもしれません。

そして今、うらしま太郎になってしまった私を知る人も少なくなりました。確かに今の私は、『よそ者』なのかもしれませんが。悦子が言いました。「よく見とってじゃね」と。

IV 庄原に墓を掘る



あなたが横を向いて、景色を画策している間に、我が町は老人の抜け歯の様にボロボロ痛んで来てるんです。

あなたの子供さん達は、あなたが他で活躍されていた間に、庄原の人達が、環境が育んで来たのです。

あなたが終の棲家をこの町に置くのであれば、この地に墓掘りをしてください。他の地に燃え尽きたかもしれないですが、今、ひと度、この地で花を咲かせて下さる様お願いします。

60歳を越えてから、明らかに私の中のエネルギーが消えていくのを自覚するようになり、会社の経営を息子たちに委ねて会長に退きました。やむをえず会社も広島に移しました。そんなときに、ジョイフルの解体、そして再生が暗礁に乗り上げていることを知り、結果として買って出るような形で理事長に就任、今は、それが私の使命だと思うようになりました。その事を果たした時、私は『よそ者』から『地の者』に戻る事ができるのかもしれない。

手紙の女性が言われるように私の子供たちだけでなく、私自身が庄原の町に育ててもらいました。故郷への恩返しが、これからの私の生きがいになりました。

庄原に墓を掘るということはそういうことなのでしょう。

V 庄原に根付く西田鮮魚店

ただ、ひとつだけ言わせてもらえば、そんな私をよそに、西田鮮魚店のスタッフたちは、しっかりと庄原に根を張り、毎朝、広島魚市場に仕入れに走り、刺身を切り、寿司をにぎり、魚を売ってくれていました。よその町から来た人たちが、こんな山奥のまちに、こんな魚屋があるなんて信じられないと言ってもらえる店づくりをしてくれました。

冒頭の『道の駅たかの』さんとのコラボレーションは私にとって、なによりうれしいことです。

庄原で頑張っている者同士、力を合わせて商売をする、そんな取り組みの一つ一つが、町を元気にすることなのだと思うから。

VI 新しい時代の始まりかも？市長選、市議選

さて、若者で沸く選挙も今日が投票日。
54才と57才。

経歴も個性もまったく異なる新人候補者の一騎討の市長選。30代2人。40代9人。50代2人。60代5人。70代4人。現職13人。新人9人。

かつてないほど多くの新人が立った市議選。なにかしら、庄原が変わるかもしれないと思わせる今回の選挙です。庄原を変える『若者ばかり者よそ者』が彼らの中にいることを信じて一票を投じたいと思います。一人一人の候補者に思いを込めて。

2025年4月13日